

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから



宮崎県拠点だより

事例紹介
ファイル #21

持続可能な農業に向かって!!

暑さに強い水稻新品種「ひなた舞」デビュー!

近年、夏場の猛暑が常態化し、高温によるコメの品質低下が問題となる中、産地では、暑さに強い「高温耐性品種」の作付けが増加傾向にあります。

宮崎県総合農業試験場（宮崎市佐土原町）では、14年間にわたる研究により、高温条件下でも品質や食味が優れる新品種「南海189号」を育成。昨年、一般公募により品種名を募集し、本年1月「ひなた舞」に決定しました。

「ひなた舞」は、県内主力品種の「ヒノヒカリ」に比べ、暑さや病気（いもち病）に強く、高温でも品質の低下が少ないことに加え、収量が1割程度多く、食味も同程度と優れた特徴を持っています。

令和3年産から県内で試験栽培を開始し、本年産は150haの作付けを見込んでいます。本年3月に策定された「第八次宮崎県農業・農村振興長期計画（後期計画）」には、令和12年度の作付面積を1,240ha（県内作付面積の1割に相当）に拡大する目標を掲げ、令和9年産からの本格販売を予定しています。

また、同試験場の作物部では、「ひなた舞」を栽培する上での「土づくり」、「適切な施肥」、「適切な栽培密度」などのポイントをわかりやすくまとめた『普通期水稻主食用新品種「ひなた舞」栽培マニュアル』を作成し、ホームページで公開しています。



宮崎県総合農業試験場作物部
みつえだひろき
部長の三枝 大樹さん

今後の作付拡大に繋げるためには、本年産の成果が大変重要です！栽培マニュアルに記載しているとおり、大粒の品種特性に合わせた栽培管理の徹底をお願いします。



ひなた舞 の特性

▼交配来歴

味と品質に優れる「南海177号」と、味・品質に加えていもち病に強い「関東257号」の交配により育成

▼生育特性

（「ヒノヒカリ」との比較）

- ・出穂期及び成熟期
：3～4日遅い
- ・稈長・穂長：やや長い
- ・穂数：やや少ない
- ・耐倒伏性：同程度

▼収量性および品質

- ・ヒノヒカリよりも約1割多収
- ・大粒で極良食味
- ・いもち病に強い
- ・高温条件下でも品質が低下しにくい



白濁により品質が低下した粒が多い「ヒノヒカリ」



透明度の高い「ひなた舞」

「ひなた舞」栽培マニュアルはこちらから栽培上の重点4項目(マニュアルP4)

- ①適切な施肥
- ②適切な栽植密度
- ③生育に合わせた水管理
- ④適期収穫



豚熱ウイルスの拡散防止にご協力をお願いします

宮崎県内の養豚場で、豚熱の感染が確認されました。豚熱はウイルスによる豚・いのししの病気で、人へは感染しません。豚熱は感染力が高いため、発生農場の豚を処分することが家畜伝染病予防法で規定されています。養豚農場の豚への感染を防ぐためには、野生いのししと豚との接点を断つとともに、豚熱ウイルスの拡散防止対策が重要です。
特に山林など、いのししの出没地に入る方はご注意ください！

対策①

靴の泥は山で落とそう

感染いのししの生息する地域の土等にはウイルスが含まれている可能性があります。



対策②

ゴミは持ち帰りましょう

ゴミによりいのししが誘引され、ウイルス拡散リスクが上がります。



対策③

家畜がいる施設には近づかないようにしましょう



対策④

いのししの死体を見つけたら 管轄の自治体に連絡しよう

感染した野生いのししの死体は感染源となります。



拠点のうごき

● 第4回綾オーガニック スクール入学式が開催されました

4月2日、有機農業の生産者育成や栽培技術の継承を目的に、令和5年6月に開校した綾オーガニックスクールの第4回入学式が開催されました。

新入生(4期生)の小池尚志さん(写真右)、優美さん夫妻、馬場爽太さん(写真左)は、2年間で、綾町の自然生態系農業の理念や取組、農業経営、土づくり、野菜栽培、農業機械の操作などを学ぶこととなります。

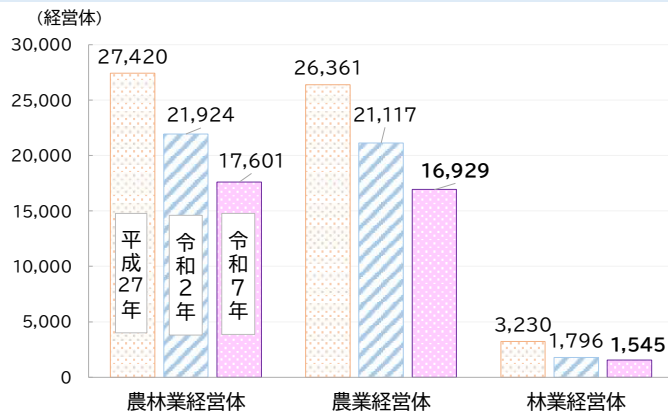
新入生あいさつでは「農業は0からのスタートだが自立した農業者を目指し頑張っていきたい。」などと述べられました。



データで見る宮崎の 農林業センサス!!

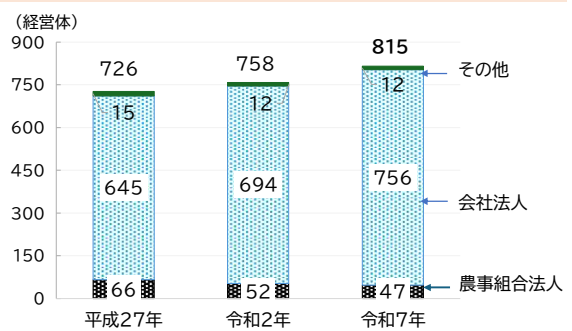
- 県内の農業経営体数(令和7年2月1日現在)は16,929経営体で、5年前に比べ4,188経営体(19.8%)減少しました。また、林業経営体は1,545経営体で、5年前に比べ251経営体(14.0%)減少しました。
- 一方、農業経営体のうち法人経営体は815経営体で、5年前から57経営体(7.5%)増加しました。また、1農業経営体当たりの経営耕地面積は2.4haで、5年前から0.3ha(14.3%)増加し規模拡大が進んでいます。

農林業経営体数の推移 (宮崎)



注：農業経営と林業経営を合わせて営んでいる経営体があるため、農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しない。

農業法人経営体数の推移 (宮崎)



1農業経営体当たりの経営耕地面積 (宮崎)

平成27年 1.8ha → 令和2年 2.1ha → 令和7年 2.4ha

資料：農林水産省「2025農林業センサス」

- 本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

- 宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985 - 24 - 2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

新緑が輝く季節になりました。この時期の楽しみが山の幸「山菜」。先日、知人からタラの芽、コシアブラ、カワバクショウなどの山菜をいただき、天ぷらにして食べました。中でもコシアブラは、香りと苦みのバランスが絶妙で、大好きな山菜のひとつです。スギ・ヒノキの花粉も落ち着いたので、山の息吹を感じに、どの山に登ろうかと地図を見ながら思いを巡らす今日この頃です。(1)